

平成27年度 第4回宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事要旨

日時：平成27年11月26日（木）14時～15時30分

場所：市役所7階 特別会議室

出席者：委員11名 事務局等5名

傍聴2名 報道関係者3名

パブリックコメント等の結果について

結果に対する委員からの意見

- ・資料3（民間事業者へのアンケート）の3ページに観光に対する具体的意見が書かれている。今後真摯な検討が必要。

宇治市人口ビジョン・宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（最終案）について

最終案に対する委員からの意見

- ・21ページで図表の中には総合戦略の計画期間が明記されているが、本文中には記載されていないので、明記した方がよい。
- ・鵜飼乗入船人数をKPIに設定しているが、運営は民間会社が行っており、市の計画の指標として設定するのはどうか。
- ・宇治市は交通バリアフリー検討委員会を昨年より設置して検討している。これらの取組を先行して実施している事業に入れたほうがよい。
- ・国では一億総活躍も議論されており、地方創生との関係性については注視する必要がある。総合戦略策定後の進捗管理においては、これら国の動向を十分に見極める必要がある。
- ・PDCAサイクルなど市民が日常生活ではあまり使用しない言葉が含まれるため、注釈をつけるか、用語集を作成したほうがよい。

推進会議を終えるにあたって

各委員からのコメント

- ・子育て支援をサポートすることができるスタッフを確保することが重要である。
- ・金融機関として、宇治市がこの戦略を実現するお手伝いをしたい。
- ・シングルでも子どもを育てられる環境も必要である。ライフスタイルが多様化しており、「自分らしい生き方を選択できるまち宇治」といった打ち出し方もある。
- ・フィルムコミッションやMICE等の促進などの宣伝活動に行政の協力がほしい。
- ・文化庁誘致に向けた活動等、宇治市だけでなく、京都府等との一層の連携が必要である。
- ・地方創生は継続してほしい。よいことをやっているが、今後はアピール力を強化する必要がある。
- ・市民に取組を理解してもらうためにも、インパクトの強いプロモーションが必要である。

る。

- ・宇治市は府下でも空き家の少ない自治体だが、旧市街地等局所的には散見される。コミュニティの担い手育成が必要である。
- ・役所の価値観だけでなく、様々な主体との連携が望ましい。また、観光は中宇治だけでなく、市内でも広域化が必要である。
- ・K P I 実現に向け、商工会議所や観光協会、茶業団体が一緒になり取り組みたい。
- ・市民や市職員が宇治の将来を意識するに意味がある。引き続き取り組んでほしい。

以 上